

(別添 1)

【沖縄県】
端末整備・更新計画

	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
① 児童生徒数	2,208	2,317	2,319	2,226	2,296
② 予備機を含む 整備上限台数	2,539	2,664	783	492	81
③ 整備台数 (予備機除く)	0	1,638	160	428	71
④ ③のうち 基金事業によるもの	0	1,638	160	428	71
⑤ 累積更新率	0%	70.1%	77.5%	100%	100%
⑥ 予備機整備台数	0	245	24	64	10
⑦ ⑥のうち 基金事業によるもの	0	245	24	64	10
⑧ 予備機整備率	0%	15.0%	15.0%	14.9%	14.1%

(確認事項)

- ・児童生徒数は、県立中学校4校、特別支援学校小中学部の児童生徒の合計とする。県立4中学校のうちの1校は令和5年度に新設されて新1年生1クラスが入学し、年次進行で2学年、3学年と1クラス分ずつ人数が増加した。令和8年度は、令和7年度と同様の算出方法となるが、令和9年度から県立中学校は1クラス35人の定数になることとしている。また、特別支援学校は生徒数の推移予測をもとに、児童生徒数を算出している。
- ・予備機については、国の補助金上限の15%を最大で活用するものとする。

(端末の整備・更新計画の考え方)

既存の整備機器が5年を迎えて更新する際及びリース期間を迎える際に整備を行い、児童生徒数は今後の入学予定数等を見込み、計画を立てる。

(更新対象端末のリユース、リサイクル、処分について)

○対象台数：739台(iPad)、372台(Chromebook、Windows)

○処分方法

- ・リースで整備した196台については、リース更新時にリース業者に引き取ってもらうこととする。
- ・その他(サポート切れまで学校で継続して利用する)：915(739+176)台
※上記915台のうち、739台はiPad、176台はChromebook

○端末のデータの消去方法 ※いずれかに○を付ける。

- ・自治体の職員が行う
- 処分事業者へ委託する

○スケジュール

令和7年度にリース業者へ引き取ってもらい、処分済み

○その他特記事項

再使用・再資源化の業者は無料で引き受けることを想定している。

(「⑤ 累積更新率」が令和10年度までに100%に達しない場合は、その理由)